



1 6種類の鍋を味わう鈴木町長 2 鍋を取り分けながら会話を弾ませる家族 3 ひぼがはつとを頬張る子ども 4 2種類の鍋を食べ比べる来場者 5 鍋が配膳されるのを心待ちにしている来場者 6 7 他市町村からの出店 8 くずまき鍋&ご当地グルメフェア



特別企画

くずまき鍋&ご当地グルメフェア

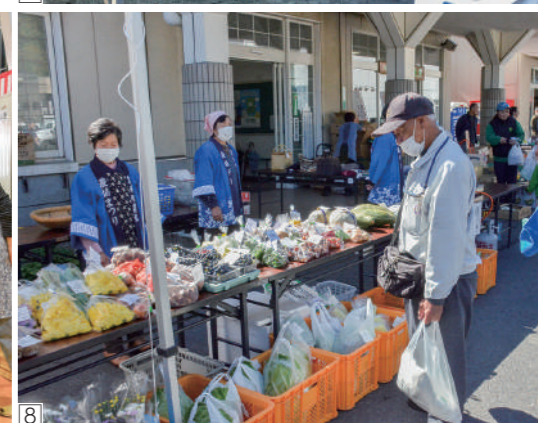


第50回 くずまき町民まつり 2024

第50回くずまき町民まつりは10月12日と13日、秋晴れの中で盛大に開催されました。会場の社会体育館とモウモウ館には2日間で延べ4,000人が来場しました。



1 オープニングを飾った葛巻保育園児のダンス 2 子どもに人気の青年会縁日 3 賑わう屋台村 4 セレモニーであいさつをする鈴木町長 5 商工会青年部の射的コーナー 6 タイムセールに挑戦する子ども 7 県観光PRキャラクターとふっち登場 8 モウモウ館での農産物の販売



50回の歩み感じながらさらなる発展目指して

町民まつりは今回で50回目を数え、メインセレモニーで鈴木重男町長は「今回で記念すべき50回目を迎えた。町民まつりは商工業の1年の成果を再確認し、次の夢に向かって語り合い挑戦する機会である。この機会を安心してきちきちづくりにつなげていきたい」とあいさつしました。

各商店や団体は体育館アリーナや屋外の屋台村などに出演。町青年連合協議会の縁日はボールすくいやスライムづくりなどが子どもから人気を集めていました。葛巻生は「葛巻おでってマーケット」と銘打って、生徒自ら厳選した全国各地の名産品を販売。(関連記事15頁) 恒例のタイムセールはお買い得商品求めて長い行列ができていました。会場には県観光PRキャラクター「わんこきょうだい」の「とふっち」が登場。子どもから大人まで記念撮影をする姿が見られました。

また、モウモウ館では農産物などが販売され、新鮮な野菜や果物を買いたい求める来場者で賑わっていました。

あたたかい鍋をどうぞ！ 第50回を記念して初開催

第50回を記念して開催されたくずまき鍋&ご当地グルメフェア(くずまき鍋普及促進協議会主催)に関して鈴木町長は「地域のPRは地域間で連携して活性化を狙う時代。この企画ではくずまき鍋や近隣地域のご当地グルメをみんな楽しんで企画したい」と話しました。

会場にはくずまき鍋を提供している全6店舗や久慈市、二戸市、矢巾町、岩手町、普代村、野田村からの店舗が軒を連ね、来場者は複数の商品をテーブルに並べて食べ比べをするなど、各店舗自慢の味を楽しんでいました。

くずまき鍋を食べた平田雪子さん(新町)は「野菜がたっぷりでおいしかった。まだ食べたことのない鍋もあるので、食べてみたいと思った」と鍋に舌鼓を打っていました。初開催となった本フェアは、町の新しい名物であるくずまき鍋を通じて、町の食の魅力を多くの人に知ってもらおう機会となりました。